

# てん 轉 ぎよ う 教

2018 3 MAR

平成 30 年 3 月 1 日発行  
第 19 卷第 3 号 通算 217 号  
編集兼発行人 山本 久男  
発行所 宗教  
法人 佛立本旨講 妙應寺  
〒 113-0021  
東京都文京区本駒込 6 - 6-11  
☎ 03-5319-3490  
FAX 03-5319-3491



(Web 版)

信のとびら

## 手順を考える

水谷随欽

3 月に入りました。寒かった今年の冬も、さすがに春をすぐそこに感じられるようになりました。季節の変わり目は体調を崩しがちです。健康管理に十分気をつけましょう。さ

て、今回は「手順」について書かせて頂きます。季節の変化も言ってみれば手順のようなものです。自然が次の季節の準備をして、スムーズに移り変わってゆきます。

物事にはそれぞれに手順があり、料理をするにも、大工仕事にも、といった具合です。段取りや手順を考えず、いきあたりばったりなやり方では何事も成就しません。その手順を間違えると大変なことになりかねないものです。

折伏するにも手順が大事になります。その場の思いつきでやられたのでは何の成果も期待できません。何を折伏するのか、それをどのように話すか、機会を窺<sup>うかが</sup>って折伏するとうことです。折伏だからといって急いでやろうというのはよくありま

せん。もちろん、時と場合によって様々な違いはあります。けれど、強い折伏をしたり、多くの信者の前で改良をせまるなどは慎むべきです。

例えば、病気に苦しむ信者や家族にたいして頭ごなしに「ご奉公しないから病気になった」「参詣しない、あなたが悪い」などと強く言えば、怒りや憎しみを買うだけに終わることは容易に想像できます。苦しんでいる信者や怠っている信者を、前向きにご奉公に進ませることが折伏です。その人その人によって、受け取り方感じ方信じ方に違いがあ

ります。それを見極める努力をさせて頂きましょう。

無計画や思いつきでは成功しません。仮にとっさの思いつきで成功したとしても、それはたまたまうまくいったままで、毎回通用する訳ではありません。

大切なご利益を頂く手順も考えてみましょう。凡夫が悟りを得るまでにはたくさんの方の修行の段階があります。それを順々に行じて登っていくのが昔の仏道修行でした。しかし、我々佛立本旨講のご利益は百パーセント妙法経力によるもので

す。ですから、信者が主になって肉体的精神的に行なう段階的修行はありません。だからといって、何も考えずにご利益に到達することはできません。まず、懺悔改良をちかひ、仏のご本意に叶う口唱や折伏行に努めることです。こうして頂けるのがご利益です。それをバネに、いつそう信心を磨くための努力をすることが大切ということですよ。

一歩一歩信心が増進していくよう、多くの信者の体験を聞き、手順を誤ることのないよう、ご奉公に邁進させて頂きましょう。

# 3月のご奉公のすすめ

来月から新しい弘通年度がはじまります。29年度の教化・参詣・助行等の個人報告も各々がまとめて提出願います。平成30年度の年間目標も今月中に立て新年度を迎えましょう。

## 一、随喜轉教について

4月から新入学、新社会人になられる次世代の皆さんに、祈願をかけにお寺参詣をすすめて、お守りいただける信心のあることを伝えましょう。また立てた目標も成就するまで忘れずに毎月祈願をかけ続けましょう。



て参詣  
させて  
頂きま

## 二、春季彼岸総回向

・「開講本旨再興」祈願朝参詣  
週間 1日(木)から7日(水)  
・「開講本旨再興」祈願口唱会  
18日(日)午前9時半

3月21日(水祝)春の彼岸総回向が、本堂では10時から六角堂では12時半から奉修されます。「先祖のお陰に感謝し子孫の幸福を願う」回向の大事を知って彼岸総回向に家族そろって参詣

## 3月の寺内行事予定表

1日(木)	開講本旨再興祈願朝参詣週間	10時30分
1日(木)	開講本旨再興祈願総講	10時30分
3日(土)	運営会議	9時30分
4日(日)	団参・聞信寺(担当)第二地区	9時30分
10日(土)	連合幹事会	9時30分
11日(日)	後続者育成連絡会	10時30分
11日(日)	れんげまつり・高祖大士御命日総講に併修	10時30分
17日(土)	開導聖人御命日総講	10時30分

しよう。

なお回向と塔婆の申し込みは  
2月28日(水)までに教区でと  
りまとめて寺務所にお納め下さ  
い。

### 三、れんげまつり

3月11日(日)午前10時半よ  
り本堂に於いて高祖大士御命日  
総講に併せ、れんげまつりを開  
催します。日蓮聖人物語(スラ  
イド)・歌・ゲーム・クイズ・  
ご供養の赤飯等を用意していま  
す。皆でお祖師様のご生誕をお  
祝いしましょう。

4月1日(日)開講本旨再興

祈願総講に併せて教区役員・事  
務局役員の辞令下附式が行なわ  
れます。皆で協力し合って後続  
者育成に努めましょう。

### 五、予告

① 4月22日(日)は日尚上人  
御祥月法要が本堂と六角堂にて  
奉修されます。

② 4月29日(日)9時半より  
立教開宗記念5時間口唱会が行  
なわれます。班内家族さそい  
あつて参加いたしましょう。

### 四、平成30年度役員辞令下附式

18日(日)

開講本旨再興祈願口唱  
会(担当第二地区)

9時30分

若い人の口唱会

10時30分

19日(月)

男子信徒お助行 本堂

21日(祝)

春季彼岸総回向法要  
(本堂) 10時

(六角堂) 12時30分

25日(日)

門祖聖人御命日総講  
10時30分

正副教区長会 12時30分

一地区…2階ホール

二地区…1階ホール

三地区…和室

# 新年のご奉公が盛まりました その二

寒参詣・開講記念総講・日教上人法要

## ○開講記念総講 1/7日

新年になって2回目のお総講、寒参詣二日目、大勢のお参詣がありました。



福岡教区のMさん（写真前列左端）が参詣され、前회のお会式に参詣された時に感じたことや、参詣将引について提案があり、早速写真のよいうなコーナーを設けました。

## ○授級褒章授与式 1/7日

今年は、一級から十級まで二一〇名の方が、日ごろのご奉公に精励した証として「彰功の記」が授与されました。



授級昇進規程は決して難しくありません。お参詣カード、お助行カードをこまめにつける、講習会に参加するなど、日ごろの積み重ねが大切です。

## 平成30年1月の寺内行事報告

- 元日(月) 元旦会を6時半より奉修
- 1日(7) 開講本旨再興祈願 朝参詣週間
- 3日(水) 初総講を10時半より奉修、引き続き祝杯式開催 教講初顔合わせを12時半より開催
- 5日(金) 教講ご奉公始め(ご奉公成就総言上)
- 6日(土) 寒参詣開始 勤行11時(御法門)7時45分 運営会議を9時半より開催
- 7日(日) 開講記念総講を10時半より高祖大士御命日総講に併せて奉修
- 13日(土) 授級褒章授与式を実施 連合幹事会を9時半より開催

○開導嗣法第四世日教上人  
御祥月法要 1/17(水)



関東ご  
弘通の先  
駆けとな  
られたの

が日教上人です。お弟子さんの  
日教上人が乗泉寺という拠点を  
引継ぎ発展させたという歴史が  
あります。

私たちは日教上人を直接は存  
じ上げないが、100年の時間  
を越えて先師上人のご苦勞のお  
陰で私たちの手元に題目口唱の  
ご利益が伝えられたという事を  
次世代の方々に伝えて行くとい  
う思いを新たにしましょう。

(御導師のご法門より)

○寒参詣 1/6&2/5

今年も恒例の寒参詣が行なわ  
れました。東京には珍しい大雪  
が二日も降りましたが、ご信者  
の皆さんは、休むこともなく、  
早朝参詣に励みました。

お参詣の楽しみの一つは、日  
曜日ごとのおうどんのご供養で  
す。ご供養課、水魚会の皆さん  
の心づくしと、当番連合の皆さん  
のご奉公。

「前の週にいただいととても美  
味しかったので、今週も又お参  
りに来まし  
た」と大変  
に好評でし  
た。



後続者育成連絡会を10  
時半より開催

17日(水)

開導嗣法第四世日教上  
人御祥月法要を開導聖  
人御命日総講に併せて

21日(日)

10時半より奉修  
開講本旨再興祈願口唱  
会を9時半より奉修  
(担当第一地区)

〃

25日(木)

成人式を11時より奉修  
引き続き祝賀会を実施  
門祖聖人御命日総講を  
10時半より奉修  
正副教区長会を12時半  
より開催

31日(水)

佛立本旨講初灯明料・  
初御供米料・寒供養奉  
納締切

【事法院六角堂行事】

元日(月) 10時初御看經  
6日(土) 寒参詣開始

# 成人、おめでと〜ございます

1月21日(日)、成人式が行なわれました。今年は、6名がお寺に来られ、14名が御導師にお礼言上をして頂きました。

第一部は11時から本堂での式典。「平服でいらしてください」と、あらかじめお知らせしてあったため、気軽にお参詣いただきました。プロのカメラマンによる記念撮影で思い出の写真が撮れたことでしょう。

参加者のZ君は、「妙法を口唱する家庭に生まれ育った私達は、両親のおかげはもとより、御導師はじめ多くの良いご縁に恵まれて、今日のこの良き日

を迎えることができました。授かったこの最良のご因縁を大切にし、これから先の人生を、信仰心を磨きながら歩んでゆきたいと思えます。そして、少しでも

## お寺で御講が盛んに!

2月3日(土)に奉修された渋谷・港連合の甲の御講。自宅では中々席主が受けられなかったEさんは、21人のお参詣者があり随喜されておりました。昨秋、席主をお受けしたとたん、病院通いがスムーズになったと喜びの御利益談を語って下さいました。



【奉修実績・予定】

1月 甲御講 1回、乙御講 3回  
2月 甲御講 5回

も妙法弘通のお役に立てるよう、社会に貢献できるように、ご奉公に精進させて頂きます」と喜びを語っていました。  
第二部は、会場を和室に移して祝賀パーティが行なわれました。

# れんげまつりを楽しく

今年も3月11日（日）に、日蓮聖人のお誕生をお祝いするれんげまつりを開催いたします。

10時半からの御看経に続き、本堂で、楽しい企画を一杯考えしております。今年は、新台本で



の「日蓮聖人物語第1話 子ども時代」を上映予定です。全5話で、聖人お誕生八百年にあたる二〇二二年に完結予定です。

現在、作画、音楽、セリフにご信者の皆さんの協力を得て、鋭意作成中です。

## 文化会が発足します

4月から「文化会」がスタートします。

- ・お寺参詣を楽しんでいただく
  - ・新しい信者の発掘につなげる
  - ・趣味、教養の幅を広げる
- このような趣旨で、サークル活動、サロン活動を文教部で計画しています。

例えば、刺繍教室では、事前に参加者を募り、講師をお呼びして材料費程度の負担で、この

また、生涯現役ご奉公のため、健康寿命を延ばしましょう、というお話、脳トレ効果のある歌のひろばなどを計画しております。

写真のような作品制作を目指します。



サロンでは、月一程度、本堂での御看経のあとのひと時をお茶を飲みながら、おたのみ会で過ごしてください。

# 男子信徒お助行を御講に

現在行なわれている「男子信徒のお助行」を発展させ、今年12月には、本堂で第1回「御講」を奉修させて頂こうと、準備が進んでいます。



また、そのために、名称を「男性信徒会」として、教務・信徒一体となり、部会形式で行事の内容

作成と推進にあたることになりました。

代表は、教務部から水谷随敏副任職、佐藤応昇師、信徒から入間教区Tさん等が、ご奉公下さる事になりました。

当面は、3月19日(月)および、9月に本堂でお助行を行ないます。また信徒宅お助行では、6

## 教区再編について

平成30年4月1日より、教区の編成替えを行ないます。

### ① 渋谷・港連合

渋谷教区と港教区を合併し

月に小田原教区のKさん席、8月は水戸教区Tさん席、10月はなかの教区Hさん席を予定しております。

さらに、7月の夏期参詣では、参詣日数の目標を立てて男子信徒の結束を固めるご奉公を考えております。多くの男子信徒のみなさんが、このご奉公を共にさせて頂く将引をしまししょう。

て、渋谷・港教区にします。

### ② 品川連合

品川教区と荏原教区を合併して、品川教区にします。

## お教化特集

### 御回向の心で御本尊奉安

佐藤次昇師

昨年の12月17日に所沢教区のYさんのお宅に御本尊を奉安させていただきました。

Yさんは、昨年11月4日にご主人のNさんを亡くされました。

当時のYさん宅には御宝前はなく、Nさんのお父さんのTさんの家に奉られており、いづれ跡を継いでお奉りさせて頂こうと思っていたそうです。

しかし、急にご主人が亡くなり、ご信心の事はまだ良くはわかっておりませんでした。が、気丈に弔主を務められました。

葬儀の後、義父のTさんの御宝前は大きいので今の家には入らないが、亡くなったNさんの御回向のためにもぜひご本尊を奉らせて頂きたいとの相談を受け、御導師よりお許しを頂き御本尊奉安をさせて頂けることになりました。

当日はYさんだけでなく、

チエコに住んでいる長女のEさん、高校二年の次女のHさんも一緒にお寺参詣をされ、御導師より励ましのお言葉を頂き、無事にご奉安させて頂くことが出来ました。

班長の小林亘さんは、「これを契機に、入院中の義父Tさんの健康回復を願い、故Nさんの軽井沢での納骨のご奉公をお勤め頂きたいですね」と、語っております。



## まいた種はきつと

目黒教区 Iさん

息子のYが大学四年のことで、地方で開催される学会に向けて、アシスタントとして発表のための資料を作成してしまし

た。かなりの分量があり期日間に合うのか非常に焦っている様子でした。不安になったのか、私のところに、「ちよつとやばくてさー、お寺にお願いするの…あれ頼みたいんだけど…」と言ってきたのです。御祈願のことでした。

このころは日々のお給仕も参加せず、ご信心から遠ざかっている状態でしたが、窮地に立つ

て御宝前からお守り頂いていること、おすがりすることを頭の片隅に覚えていて思い出したのでしょうか。

御祈願をし、私もお看経させていただきました。結果、無事に期日に間に合わせることできたとのことでした。

『どんな問題も御宝前にご祈願を立てて乗りこえます』ということが、すこしでも身につけているとしたら、これからも実践して行ってほしいと思いました。

## 平成28年度授級褒章授与式が行われました

昨年度は、ご奉公に精励した証として二百十人が授級されました。

1級	2人	(左頁写真)
2級	9人	
3級	8人	
4級	13人	
5級	14人	
6級	15人	
7級	31人	
8級	22人	
9級	41人	
10級	55人	
合計	210人	立

■私のよろこび

## 家族一同の協力で

中里教区 Sさん

主人のご奉公についてお話を  
せていただきます。

四年前から評議委員のお役を  
拝命してお寺へ一人で出かける  
ようになりました。

昨年妙應寺が本駒込に来てか  
らは毎日を夕看経にお参詣する  
ようになり、お講師方とも親し  
くお話ができるようになってい  
るようです。朝のご宝前のお給  
仕にも一緒にご奉公ができるよ  
うになりました。

この頃はKさんからお誘いを  
受けて小田原へ御導師のお供で  
お助行にも参詣するようにな

り、先日は男子信徒助行のお席  
も受けさせて頂きました。男子  
信徒との交流も深まってきてい  
る様子を見て大変うれしく思っ  
ています。

息子二人もそれぞれにご奉公  
をさせて頂いております。家族  
全員がご信心を通して同じ方向  
を向いていることが大変ありが  
たく、こんな日が来ることを目  
標にご信心をさせて頂いていただ  
きましたので、今はとてもうれ  
しく思っています。ますますご  
信心ご奉公に邁進させて頂いた  
きたいと思えます。





# ★こどもたちの会★

## あらた かん よろこ 「改めて感じた喜び」

<p>う〜ん… たしかに、 どこか上っつらのご信<sup>いひ</sup>心<sup>しん</sup>で、 すべてをお任せ<sup>まか</sup>して<sup>せ</sup>いな<sup>い</sup>い 部分<sup>ぶぶん</sup>があ<sup>あ</sup>った<sup>の</sup>か<sup>も</sup>…。</p>	<p>ご結婚<sup>けっこん</sup> おめでと<sup>う</sup>ござ<sup>い</sup>ます!!</p> <p>ありがとう ござ<sup>い</sup>ます!!</p>
<p>南〇〜経!</p>	<p>仕事<sup>しごと</sup>も変<sup>か</sup>えた<sup>た</sup>て聞<sup>き</sup>いた けど、本<sup>ほん</sup>当<sup>とう</sup>で<sup>す</sup>か?</p> <p>そうなん<sup>だ</sup>です!! 結婚<sup>けっこん</sup>前<sup>まへ</sup>の<sup>し</sup>ごと<sup>は</sup>危<sup>い</sup>険<sup>な</sup> 事<sup>こと</sup>や出張<sup>しゅちやう</sup>も多<sup>お</sup>くて…。</p>
	<p>…そうだ<sup>っ</sup>たん だ<sup>ね</sup>。</p> <p>どう<sup>し</sup>ても結<sup>けっ</sup>婚<sup>こん</sup>前<sup>まへ</sup>には 仕事<sup>しごと</sup>を<sup>か</sup>え<sup>な</sup>か<sup>っ</sup>た<sup>ん</sup>です。</p>
<p>それは本<sup>ほん</sup>当<sup>とう</sup>に 良<sup>よ</sup>い<sup>ご</sup>利<sup>り</sup>益<sup>えき</sup>を 頂<sup>た</sup>げ<sup>ま</sup>した<sup>ね</sup>!!</p> <p>今<sup>いま</sup>の<sup>し</sup>ごと<sup>は</sup>休<sup>やす</sup>み<sup>も</sup> 取<sup>と</sup>り<sup>や</sup>す<sup>く</sup>、ご<sup>きん</sup>公<sup>こう</sup>にも 励<sup>ほげ</sup>め<sup>そ</sup>う<sup>で</sup>す!!</p>	<p>それは大<sup>たい</sup>変<sup>へん</sup> だ<sup>っ</sup>た<sup>ね</sup>。</p> <p>しかし<sup>し</sup>い<sup>ざ</sup>辞<sup>しや</sup>め<sup>よ</sup>う<sup>と</sup>な<sup>っ</sup>た 時<sup>とき</sup>、社<sup>しゃ</sup>内<sup>ない</sup>で<sup>事</sup>故<sup>こ</sup>が<sup>お</sup>こ<sup>っ</sup>て し<sup>ま</sup>い、な<sup>か</sup>な<sup>か</sup>タイ<sup>タイ</sup>ミ<sup>ミ</sup>ン<sup>ン</sup>グ<sup>を</sup> 逃<sup>に</sup>が<sup>て</sup>し<sup>ま</sup>い<sup>ま</sup>した<sup>…</sup>。</p>
<p>そう<sup>で</sup>す<sup>ネ</sup>! 頑<sup>がん</sup>張<sup>ぱう</sup>っ<sup>て</sup> い<sup>き</sup>ま<sup>し</sup>よ<sup>う</sup>!!</p> <p>これ<sup>か</sup>ら<sup>も</sup>お<sup>ま</sup>参<sup>さん</sup>言<sup>ごん</sup>旨<sup>しめ</sup>に<sup>に</sup> ご<sup>しん</sup>願<sup>げん</sup>を<sup>た</sup>て<sup>て</sup>頑<sup>がん</sup>張<sup>ぱう</sup>っ<sup>て</sup> い<sup>き</sup>ま<sup>す</sup>!!</p>	<p>うん<sup>うん</sup>。</p> <p>それ<sup>で</sup>不<sup>ふ</sup>安<sup>あん</sup>に<sup>な</sup>っ<sup>て</sup>い<sup>ら</sup>ら、 家<sup>か</sup>族<sup>ぞく</sup>に<sup>本</sup>当<sup>とう</sup>に<sup>お</sup>す<sup>が</sup>り<sup>で</sup>き<sup>て</sup> い<sup>な</sup>い<sup>の</sup>では<sup>?</sup>と<sup>い</sup>われ<sup>…</sup>。</p>

